

### 第3回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、6月25日、午後2時45分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第49号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

予防接種事業について、風疹の予防接種について5千円の補助ということだが、単独ワクチン接種なら5千円で受けることができるが、混合ワクチン接種では金額的に足りないと思うが、なぜ5千円という金額になったのか。とに対し、

風疹単独ワクチンなら5千円から6千円程度、混合ワクチンだと8千円から1万円程度かかることを、確認をしています。補助金額としては、愛知県内の市町の状況を把握する中で、この金額にしました。とのこと。

風疹の予防接種について、対象者数が1,050人とのことだが、この算定方法は。とに対し、

愛知県の示す算出方法を参考に算出したもので、平成24年度に出産をされた数、1,064名とその夫の、計2,128人をベースとして、未接種と推測される方が約60パーセントであることから、0.6を乗じ、さらに想定される接種率の0.83を乗じたものです。とのこと。

いじめ不登校対策事業について、ネットパトロールの具体的な方法は。とに対し、

民間企業に委託し、平成25年8月から、全中学校でネットパトロールを実施する予定です。パトロールについては、インターネット上で学校名や地域名などをキーワードとし、個人情報や誹謗中傷を見つけ出す作業になります。とのこと。

鴉根ちびっ子広場整備工事で、広場の整備事業は、職員と市民との協働で実施するということだが、この場合職員は、就業時間中に業務命令でやるということなのか、ボランティアでやるのか。とに対し、

子育て支援部を中心に、建設部等に依頼しながら行っていきたいと考えています。地域の方々はボランティアで携わっていただきますので、職員も基本はボランティアとして募集して、担当課については職務として行っていきたいと思っています。とのこと。

児童虐待防止対策緊急強化事業について、平成24年度までの事業を、今年度も延長して行うということだが、何か目新しいことはあるのか。また、どのような人に講師を依頼するのか。とに対し

今回行う講座では、被虐待児の保護者支援というプログラムを実施します。日ごろの相談や、虐待の通告を受ける中で、暴言、暴力を使わない子どもを育てる手法を家庭に届けることにより、子どもの健全育成を図るという取組を、今年度は行うものです。また、講師については、この保護者支援プログラムが、アメリカで開発されたトレーニングで、その認定資格を持ったトレーナーの方をお願いをしていく予定です。さらに、児童虐待の防止研修会では、日本福祉大学の先生など、専門の方をお願いをしていく予定です。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。